

卒業必修		保育士必修		幼稚園教諭必修		選択	
授業科目名： 保育実践演習 ナンバリング：2601		保育士資格取得のための 必修科目		単位数：2単位 (半期) 演習		担当教員名：加藤房江	
						担当形態：クラス分け	
系 列		総合演習					
教科目		保育実践演習					
授業の到達目標及びテーマ							
1. 保育士として必要な専門的知識及び技術、深い教養、総合的な判断力、倫理観等を修得することができる。							
2. 保育に関する現代の課題・現場を分析し、それらの対応として、保育士、保育の現場、地域、社会に求められることは何か、多様な視点から考察することができる。							
3. 自己の課題を明確にし、保育実践に際して必要な基礎的な資質・能力を定着させることができる。							
授業の概要							
本授業では、子どもの活動や発達を予測し、保育に必要な専門的知識及び技術、教養、総合的な判断力、倫理観等を修得する。保育士に求められることは何か、考察し、保育実践に必要な基礎的な資質・能力を定着していく。また、教材や遊びなどの児童文化財を考えて制作し、演じ方などを研究していく中で、保育現場で活用出来る教材の制作や保育技術を考察する。そして、保育現場で実際に活かせる制作物や技術を習得し、子どもへの援助をするには、どのような方法があるかを学んでいく。							
授業計画 第1回：オリエンテーション 第2回：保育士の意義や役割、職務内容、子どもに対する責任、倫理観について 第3回：社会性、対人関係能力について 第4回：子どもやその家族の理解、職員間の連携、関係機関との連携について 第5回：保育や子育て家庭に対する支援の展開について 第6回：各自テーマをもとに課題解決向け内容や方法 第7回：研究活動・制作① 第8回：ゼミ内発表会・他のゼミとの交流 第9回：自己の課題の明確化と研究活動 第10回：研究活動・制作② 第11回：研究活動・制作③ 第12回：研究活動・発表準備① 第13回：研究活動・発表準備② 第14回：授業内発表会 第15回：まとめと今後の課題発見 定期試験：研究発表				授業時間外の学習			
				・保育士の意義や役割、職務内容、子どもに対する責任、倫理観について今まで学んだことを復習しておく（1～2時間程度）。			
				・研究活動の多くは、授業時間外の学習や活動である。そのため日頃から研究し、計画的に取り組むこと（予習、復習に1～2時間程度の時間）。			
				・実習や保育者になった時のことを意識しながら、教材研究を行い、アイデアを集めておく。			
				・幼稚園・保育所実習に向けて準備や制作などを進める。			
				・授業内でロールプレイや成果の発表を行うため、発表においては身近な人などに模擬演習をしておく（1～2時間程度）。			

授業の方法			
保育士として必要な専門知識や技術を確かなものにするためのテーマについて、グループ討論やロールプレイング等を交え研究活動を進める。教員からの話題提供や自己課題を把握する中で、各自調べ学習を行い、研究したものを発表することにより、実践力を高める。制作過程において改善点を伝え成果発表後に実践力向上に繋がるフィードバックを行う。			
テキスト 必要に応じ適宜プリントを配布する。			
参考書・参考資料等 各自必要な本について案内する。			
学生に対する評価			
ルーブリック評価・研究に取り組む意欲・態度（40%）、制作物（30%）、成果発表（30%）を総合的に評価する。			
履修上の注意			
研究に必要な事前の予習・準備を行い臨むこと。			
保育現場を意識し、主体的に授業に臨み、活動を楽しむこと。			
実務経験の有無		有	実務経験
			元保育士、元主任保育士
実務経験を活かした教育内容			
保育士の経験を活かし、保育現場に必要な知識や技術の修得ができるような内容を行うことで、保育者として必要となる力を身に付けられること見据えた授業を行う。			